

大学生の友人関係と自尊感情・ソーシャルスキルとの関連

—内面的関係と表面的関係の観点から—

氏名 平岡 ひとみ

(駿河台大学大学院心理学研究科臨床心理学専攻 修士課程 2年)

指導教員 安藤 聡一朗 准教授

キーワード : 友人関係, 自尊感情, ソーシャルスキル

問題と目的

青年期における友人関係の特徴を、岡田(1999)は「内面的関係」と「表面的関係」という観点から説明している。このことから、「表面的関係」は「内面的関係」と異なった意味で青年にとって必要な関係だと考えることができ、現代における適応的な友人関係は、「内面的関係」と「表面的関係」の両方が含まれている関係であると考えられる。

本研究では、青年期の適応的な友人関係を、青年の対人認知がどのような構造であるか、不安定な青年期を乗り切る力が得られているかに重きを置いて検討することとする。なお、本研究では、その力の一つとして、自尊感情の3状態(全般的自尊感情・本当の自尊感情・随伴性自尊感情)とソーシャルスキルを用いて検討する。

仮説は以下の通りである。

1. 「内面的関係」が本当の自尊感情を促進させ、「表面的関係」が随伴性自尊感情を促進させるのではない。
2. 「表面的関係」を持つ青年であっても、ソーシャルスキルが高ければ、本当の自尊感情を促進させるのではない。

方法

調査協力者：関東圏の大学生 203名 (男性 84名, 女性 113名, 回答しない6名, 平均年齢 19.9歳)

質問紙構成：①フェイスシート(年齢, 性別) ②「内面的関係」と「表面的関係」をとらえるための友人関係尺度(斎藤・藤井, 2009) ③全般的自尊感情尺度(伊藤・小玉, 2011) ④自己愛人格目録(小塩, 2004) ⑤本来感尺度(伊藤・小玉, 2005) ⑥成人用ソーシャルスキル尺度(相川・藤田, 2005)

結果と考察

「内面的関係」を持っている青年はソーシャルスキルと自尊感情を高めるということが明らかになった。一方、「表面的関係」を主に持っている青年では、表面的な友人関係が本当の自尊感情を低める要因となっていた。以上より、本研究では、「内面的関係」は本当の自尊感情を促進させ、「表面的関係」は本当の自尊感情を軽減させることが示唆され、「内面的関係」が本当の自尊感情を促進させ、「表面的関係」が随伴性自尊感情を促進させるのではないかという1つ目の仮説は一部のみ支持された。

また、「表面的関係」は本当の自尊感情を軽減させるが、不適応的な自尊感情である随伴性自尊感情とはさほど関わりがないことが示されたことから、不適応的な自尊感情である随

伴性自尊感情への影響はさほどないが、適応的な自尊感情を軽減させる要因である「表面的関係」は不適応的なものである、と考えられるだろう。

しかし、一概に「表面的関係」を持っていることが不適応につながるとは言えないだろう。本研究において、「表面的関係」を主に持っている青年では周囲に同調する傾向が強い一方、「内面的関係」と「表面的関係」を同時に成立させている青年では自身の意見を主張しながら周囲に合わせるができることが示唆された。また、「表面的関係」を持つ青年は、ソーシャルスキルが高ければ本当の自尊感情が高まるということも明らかになった。このことから、「表面的関係」を持つ青年であっても、ソーシャルスキルが高ければ、本当の自尊感情を促進させるのではないかと、という仮説の2つ目が検証された。以上から、「表面的関係」は、「表面的関係」だけ持っている場合であれば不適応的であると考えられるが、「内面的関係」と同時に成立させる場合は適応的であり、ソーシャルスキルを持つことによって「表面的関係」をもつても適応的であるということが示された。

さらに、「内面的関係」を主に持っている青年は、全般的自尊感情・本当の自尊感情・随伴性自尊感情のすべてに影響を与えていたが、「内面的関係」と「表面的関係」を同時に成立させている青年は、全般的自尊感情と本当の自尊感情に影響を及ぼしていた。これらのことから、「表面的関係」だけでは自尊感情を高めることはなく、むしろ低める要素になっているが、「内面的関係」と「表面的関係」を同時に成立させていることによって、外的な評価を得たり内的な価値基準を達成したりすることで得られる不適応的な随伴性自尊感情を促進させることは少なく、外的成功や他者の評価といったものを必要としない、自分らしくいることによって自然と生起する適応的な、本当の自尊感情を高めることができるのではないかと考えられる。よって、主に「内面的関係」を持つだけでなく、「内面的関係」と「表面的関係」を同時に成立させていることも青年の適応を高めるためには有用であろう。

主な参考・引用文献

斎藤茉莉絵・藤井恭子 (2009). 「内面的関係」と「表面的関係」の2側面による現代青年の友人関係の類型的特徴—賞賛獲得欲求・拒否回避欲求および充実感からの検討—. 愛知教育大学研究報告, 58, 133-139.